



2017年3月期 第2四半期決算説明会 決算説明資料

2016年11月16日

代表取締役 社長執行役員 安田 正介

証券コード：8130
(東証一部、名証一部)

目次

■ 2017年3月期第2四半期 決算の状況 p.3

- 決算のPOINT p.4
- 外部環境 p.5
- 関連市場の状況と販売状況 p.6-7
- 連結損益計算書 p.8
- 連結セグメント別売上高推移 p.9
- 連結セグメント別営業利益推移 p.10
- 主な取り組み状況 p.11-12
- 連結税金等調整前純利益の増減（前年比） p.13
- 連結貸借対照表 p.14
- 連結キャッシュ・フロー計算書 p.15
- 連結設備投資の状況 p.16
- 【参考】Cash Conversion Cycle（サンゲツ単体） p.17
- 自己及び純利益の推移 p.18

■ 2017年3月期 通期見通し p.19

- 外部環境予想（当社推定） p.20
- 連結業績見通し（概要） p.21
- 連結業績計画 p.22
- 連結セグメント別業績計画 p.23

■ 中期経営計画（2014-2016） Next Stage Plan G 進捗状況 p.24

- 成長戦略 p.25
- 営業力 受注業務の一部をBPO p.26
- 機能の強化 受注業務の一部をBPO p.27
- 国内販売強化 ショールーム新設 p.28
- メイン機能強化 物流拠点統廃合 p.29
- サブ機能強化 施工力 フェアトーン株式会社 p.30
- サンゲツの海外戦略 p.31
- 海外での進捗状況 p.32
- 株主還元と純資産の推移 p.33
- 将来見通しに関する注意事項 p.34

2017年3月期第2四半期 決算の状況

決算のPOINT

■ 外部環境

- ・新設住宅着工戸数は好調、住宅リフォームは減少、非住宅内装工事は端境期。

■ 売上高 649億8,900万円（前期比+1.1%） ～売上7期連続増収 過去最高更新～

- ・インテリア事業（壁装、床材、ファブリック）、エクステリア事業、照明事業の各事業において増収。
- ・商品企画における若手社員の積極的な登用と外部の若手デザイナーとのコラボレーション企画等により商品評価向上。

■ 営業利益 35億5,800万円（前期比▲22.0%、10.0億円減）

- ・仕入れ価格の削減努力を継続、売上総利益 前期比+2.9%。
- ・販管費は期初計画に加え、米国買収案件・BPO等追加費用発生もあり、期初計画比+0.7%(前年比+10.9%)となった。
- ・関連会社サングリーン(株)は営業力と施工力を強化し増収。山田照明(株)は営業部門の専門特化継続により黒字体質への改善まであと一歩。

■ 当期純利益 28億6,900万円（前期比▲11.0%、3.5億円減）

- ・物流拠点移転に伴う特別損失0.6億円計上などマイナス影響もあったが、ウェーブロックホールディングスの持分法投資利益1.6億円(営業外収益)、退職給付制度一部終了益1億円(特別利益)等の計上により、当期純利益では▲11.0%にとどまった。

外部環境

		新設住宅着工戸数 (国土交通省発表資料)	新設住宅着工床面積 (国土交通省発表資料)	住宅リフォーム市場 (当社推計資料)	民間非居住建築物 着工床面積 (倉庫・工場を除く) (国土交通省発表資料)
(2015.11.02改訂)		前年比	前年比	前年比	前年比
2014年	4-9月	▲11.6%	▲15.7%	▲14.6%	▲8.2%
	10-3月	▲10.1%	▲14.8%	▲20.8%	▲12.7%
2015年	4-9月	6.9%	3.5%	4.5%	▲4.7%
	10-3月	2.2%	0.7%	1.0%	▲8.5%
2016年	4-9月	6.0%	4.1%	▲9.0%	1.6%

1. 新築住宅	本年度の新設住宅着工戸数は4～9月+6.0%。一方新設住宅着工床面積は賃貸住宅比率増加により、新設住宅着工床面積の4-9月は+4.1%。
2. リフォーム需要	2016年4～9月は前年比▲9.0%（当社推定） 力強い消費動向は感じられない。
3. 非住宅	2014年度▲10.4%、2015年度▲6.5%が響き、上期内装工事量は前年比マイナス。

関連市場の状況と販売状況(壁装材)

●壁装材 関連市場の状況 (カッコ内は業績に影響を与える対象期間)

新築住宅市場 (2016年1月～2016年6月)		
新設住宅着工戸数 前年同期比 +5.2%	持家	+1.9 %
	賃貸	+8.7 %
新設住宅着工床面積 前年同期比 +3.1%		

住宅リフォーム市場 (2016年4月～2016年9月)
前年同期比 ▲9.0%

業界全体の壁紙出荷数量 (2016年4月～9月)
前年同期比 +3.4%

●壁装事業 実績

壁装材売上高
前年同期比 実績
+0.1%

- リフォーム需要の低迷
- 塩ビ量産壁紙の出荷は増加したが、プラスチック壁紙の出荷減少
- 中価格帯の新見本帳「リザーブ」好調も、見本帳「ファイン」苦戦

関連市場の状況と販売状況(床材)

●床材 関連市場の状況

民間非居住建築物 着工床面積 (使途別,倉庫・工場を除く)	民間非居住建築物着工床面積(用途別)		業界全体の商材別出荷数量 前年度比	
	2015年度	2016年4月~9月		
2014年度 前年度比 ▲10.4%	卸売業、 小売業用 ▲14.6%	▲0.3%	タフテッドカーペット (4-8月) 2.5%	
2015年度 前年度比 ▲6.5%	宿泊業、飲食・ サービス業用 +28.3%	+68.5%	カーペットタイル (4-8月) +0.7%	
	医療・福祉用 ▲24.3%	+6.7%	長尺シート(4-9月) ▲2.4%	
	その他の サービス業用 +11.9%	▲20.2%	フロアタイル(4-9月) +9.4%	

●床材事業 実績


床材売上高
前年度比 実績
+2.2%

- 事務所・店舗・ホテルの新築やリニューアルの獲得によりカーペットタイル、フロアタイル好調
- 医療施設分野の昨年度の落ち込み(昨年度▲24.3%)もあり長尺シートは苦戦。

連結損益計算書

単位（億円、％）

	2016年 3月期 実績	2017年3月期							
		上期 計画			上期 実績				
		前期差	前期比	計画差	計画比	前期差	前期比		
売上高	1,339.7	666.0	23.4	3.6%	649.8	▲16.1	▲2.4%	7.3	1.1%
売上総利益	395.2	197.5	9.2	4.9%	193.8	▲3.6	▲1.9%	5.5	2.9%
販売費及び 一般管理費	304.1	157.2	14.5	10.2%	158.2	1.0	0.7%	15.5	10.9%
営業利益	91.1	40.3	▲5.2	▲11.6%	35.5	▲4.7	▲11.7%	▲10.0	▲22.0%
営業外収益	4.5	2.8	0.5		4.2	1.4		1.9	
営業外費用	1.0	0.2	▲0.0		0.1	▲0.0		▲0.0	
経常利益	94.6	42.9	▲4.7	▲9.9%	39.6	▲3.2	▲7.6%	▲7.9	▲16.7%
特別利益	0.2	-	▲0.1		1.0	1.0		0.9	
特別損失	1.3	0.5	▲0.0		1.0	0.5		0.4	
税金等調整前 当期純利益	93.4	42.4	▲4.8	▲10.2%	39.7	▲2.6	▲6.3%	▲7.5	▲15.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	63.9	29.6	▲2.6	▲8.2%	28.6	▲0.9	▲3.1%	▲3.5	▲11.0%
EPS（円）※	89.8	43.3	▲1.4		42.4	▲0.9		▲2.3	

P.11に詳細掲載

関連会社・ウェブ
ロックホールディング
スの持分法による投資
利益+1.6億円

前期末退職給付制度変
更に伴う戻り益+1.0
億

三郷センター（支払家
賃▲転賃受入）契約期
間の差額損失を計上
+0.6億計上

※2016年3月期実績EPSは、潜在株式調整後の株式数にて算出

連結セグメント別売上高推移

単位（億円、％）

事業セグメント	2013年 3月期2Q	2014年 3月期2Q	2015年 3月期2Q	2016年 3月期2Q	2017年3月期2Q			
					実績	構成比	前期差	前期比
インテリア	507.1	527.0	546.3	551.1	557.1	85.7%	5.9	1.1%
壁装材	252.5	264.0	271.0	274.5	274.8	49.3%	0.3	0.1%
床材	168.1	175.9	183.1	191.3	195.6	35.1%	4.2	2.2%
ファブリック	39.1	37.0	40.0	36.4	36.4	6.5%	0.0	0.0%
その他	47.3	50.0	52.1	48.8	50.1	9.0%	1.2	2.6%
エクステリア	66.1	69.9	75.1	71.8	72.5	11.2%	0.6	1.0%
照明器具	19.3	16.1	18.6	19.7	20.5	3.2%	0.7	4.0%
セグメント間取引調整	▲0.1	0.0	▲0.3	▲0.2	▲0.3	-	-	-
連結売上高	592.5	613.0	639.8	642.5	649.8	100%	7.3	1.1%

連結セグメント別営業利益推移

●セグメント別 営業利益推移

単位 (億円、%)

事業セグメント	2013年 3月期2Q	2014年 3月期2Q	2015年 3月期2Q	2016年 3月期2Q	2017年3月期2Q					
					実績	構成比	計画差	計画比	前期差	前期比
インテリア	30.6	41.0	36.4	44.9	33.6	94.6%	▲4.3	▲11.4%	▲11.3	▲25.2%
エクステリア	1.6	2.0	2.6	1.5	2.0	5.7%	▲0.2	▲11.4%	0.5	33.8%
照明器具	▲0.0	▲2.0	0.3	▲0.8	▲0.0	▲0.3%	▲0.0	-	0.8	-
セグメント間取引調整	▲0.0	0.0	▲0.0	▲0.0	▲0.0	-	-	-	-	-
連結営業利益	32.2	41.0	39.2	45.5	35.5	100%	▲4.7	▲11.7%	▲10.0	▲22.0%

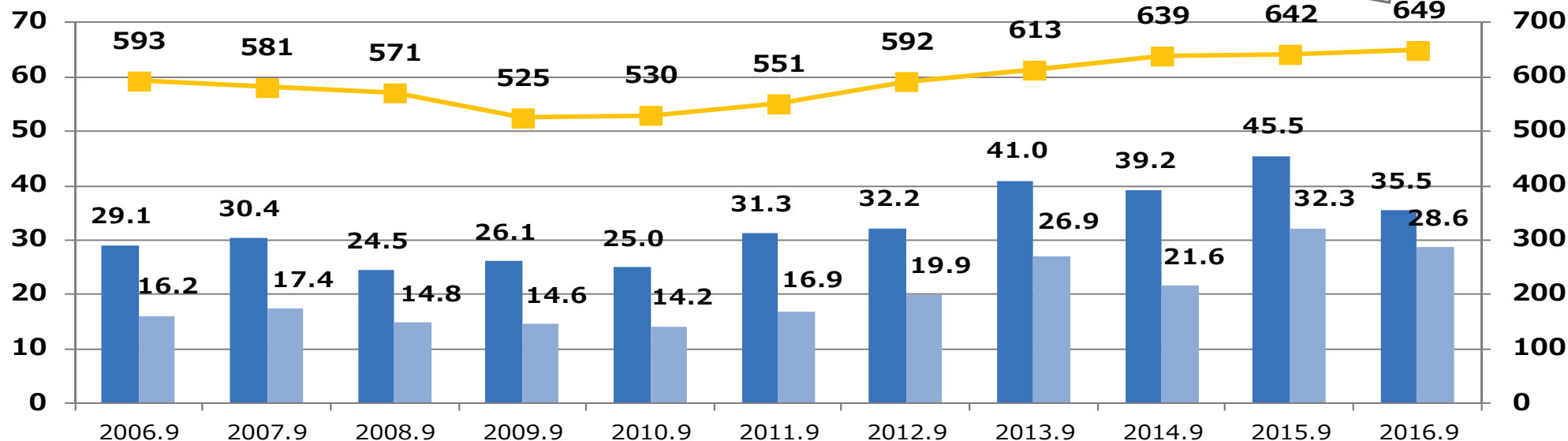
●連結売上高・営業利益・純利益推移

2Q営業利益・純利益 (億円)

■ 第2四半期営業利益 ■ 第2四半期純利益 ■ 売上

7期連続増収(過去最高更新)

2Q
売上高 (億円)



インテリア事業の状況

■ 壁装材

5月に主力見本帳「リザーブ」を発売、「ペットとともに暮らす」や「子どもと一緒に遊ぶ」など、5つのコンセプトに基づくコーディネート提案で、消費者のお好みに合わせて選定しやすい工夫や、より意匠性にこだわった商品シリーズ「process#100」を導入、発売直後から売上好調。また、リフォーム専用見本帳「リフォームセレクション」もリフォーム事業者へのきめ細かい営業活動により、順調に売り上げを伸ばしている。

■ 床材

非住宅分野における商業施設や宿泊施設ならびにオフィスの新築や改装需要の獲得に努めた。本年9月、クッションフロア見本帳「H-FLOOR」とマンションの廊下やベランダに施工する防滑性シート見本帳「ノンスキッド」を発刊し、持家、貸家、マンション市場への拡販に注力中。

■ カーテン

昨年度に発刊したカーテン見本帳「ACカーテンファブリックス」のコーディネートセミナーの開催や、インテリアショップへの展示提案を地道に続け、市場への浸透に努めた。5年ぶりに「デザイン」とメンテナンス性など「機能」を充実した椅子生地総合見本帳「UP（アップ）」を9月に発売し、家具メーカーや設計事務所など、積極的な営業活動を展開中。

エクステリア事業の状況

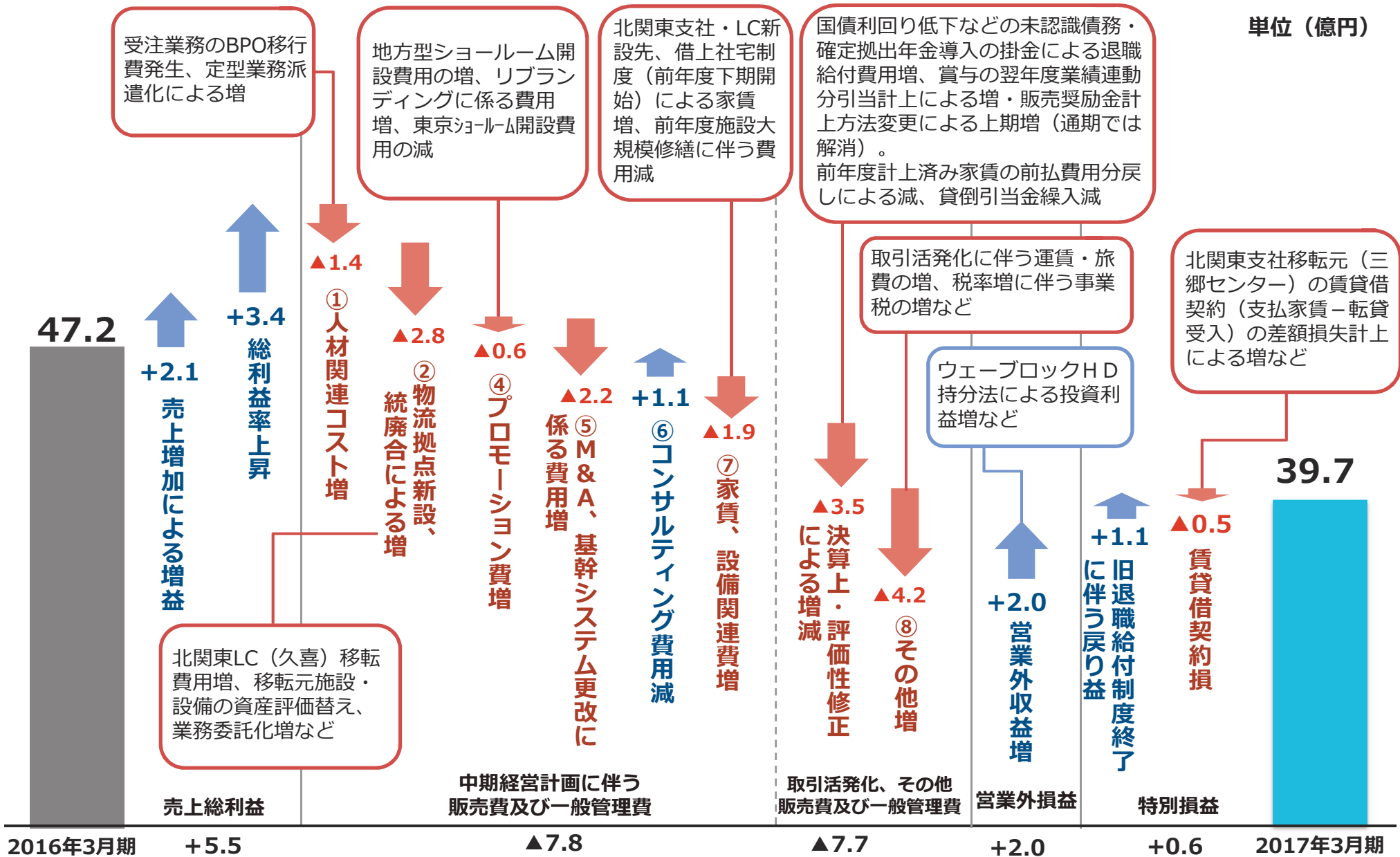
他社との競争が激化するなか、営業管理体制を再構築・強化すると共に、工事力を増強。関東地区(横浜、湘南)の売上が堅調に推移し全体を牽引した。

照明事業の状況

営業体制を大幅に見直し、昨年から専門特化したソリューション営業を継続した結果、宿泊施設や公共施設での受注が拡大。特に法人向け営業活動においてサンゲツとの情報共有など、シナジー効果を高める営業体制を強化中。赤字体質からの脱却まであと一歩。

連結税金等調整前純利益の増減（前年比）

単位（億円）



連結貸借対照表

区分	期別	2016年 3月31日	2016年 9月30日	増減	単位 (億円)
(資産の部)					
流動資産		888.2	848.6	▲39.6	・ 定期預金を解約し、低リスクの短期運用商品へ
現金及び預金		298.0	249.3	▲48.6	
受取手形、電子記録債権及び 売掛金		455.7	415.5	▲40.1	・ 需要期である昨年度末に比べ、売上減
有価証券		3.0	38.0	35.0	
その他		131.4	145.7	14.2	
固定資産		503.9	539.8	35.9	・ 中部LCⅡ、北関東LC新設に伴う資産増など ・ サングリーン新岐阜支店土地取得
〈有形固定資産〉		310.0	336.1	26.1	
建物及び構築物		88.9	116.7	27.7	・ 次期基幹システムの設計開発費用に伴うソフトウェアの仮勘定
土地		193.5	194.9	1.4	
その他		27.5	24.4	▲3.0	
〈無形固定資産〉		12.9	20.5	7.6	・ 投資有価証券の時価下落による減少 ▲10.8 ・ 私募リート購入、BPO契約に伴う長期前払費用の増加など
〈投資その他の資産〉		180.9	183.1	2.1	
資産合計		1,392.2	1,388.4	▲3.7	
(負債の部)					
流動負債		227.1	243.3	16.1	・ 需要期である昨年度末に比べ、仕入減 ・ 仕入債務支払い日数の改善など
支払手形、電子記録債務及び 買掛金		159.7	185.2	25.5	・ 未払消費税減少など
未払法人税等		17.9	14.8	▲3.0	
その他		49.5	43.1	▲6.3	
固定負債		79.8	75.2	▲4.5	・ 退職給付制度終了に伴う減少など
負債合計		307.0	318.6	11.5	
(純資産の部)					
株主資本		1,080.5	1,070.2	▲10.3	・ 2017年3月期2Q純利益 +28.6 ・ 2016年3月期配当金支払い ▲17.0 ・ 自己株式取得 ▲22.1
その他の包括利益累計額		4.0	▲1.2	▲5.2	
新株予約権		0.5	0.8	0.3	
純資産合計		1,085.1	1,069.8	▲15.3	・ 投資有価証券時価評価額減少など
負債純資産合計		1,392.2	1,388.4	▲3.7	

連結キャッシュ・フロー計算書

単位 (億円)

	2015年 4-9月	2016年 4-9月	増減
税金等調整前当期純利益	47.2	39.7	▲7.5
減価償却費	6.3	10.6	4.3
運転資金増減	30.3	53.9	23.5
法人税等支払	▲12.2	▲15.2	▲3.0
その他	▲9.2	▲7.1	2.0
営業キャッシュ・フロー	62.3	81.8	19.5
投資キャッシュ・フロー	88.4	▲99.3	▲187.8
フリーキャッシュ・フロー	150.8	▲17.5	▲168.3
財務キャッシュ・フロー	▲44.6	▲39.3	5.3

主に季節変動による売上債権減少と、支払方法変更による仕入債務が増加

【16.4-9月】 売上債権減少 +40.1
棚卸資産増加 ▲11.8
仕入債務増加 +25.5

【15.4-9月】 売上債権減少 +41.3
棚卸資産増加 ▲5.9
仕入債務減少 ▲5.0

主に物流LC新設・新基幹システムの資産取得、受注業務のBPO契約に伴う前払金支払い、有価証券及び投資有価証券の取得などにより支出増
前年度4-9月は国債の償還による収入があった

【16.4-9月】
・固定資産取得 ▲44.2 (物流LC新設、新システムなど)
・受注業務BPOに伴う業務委託料前払 ▲5.6
・有価証券・投資有価証券取得 ▲39.0

【15.4-9月】
・国債の償還による収入 +130.0
・固定資産取得 ▲19.0 (中部LCⅡ土地取得など)

主に自己株式取得と配当金支払

【16.4-9月】 自己株式取得 ▲22.2
配当金支払 ▲17.0

【15.4-9月】 自己株式取得 ▲27.2
配当金支払 ▲16.4

連結設備投資の状況

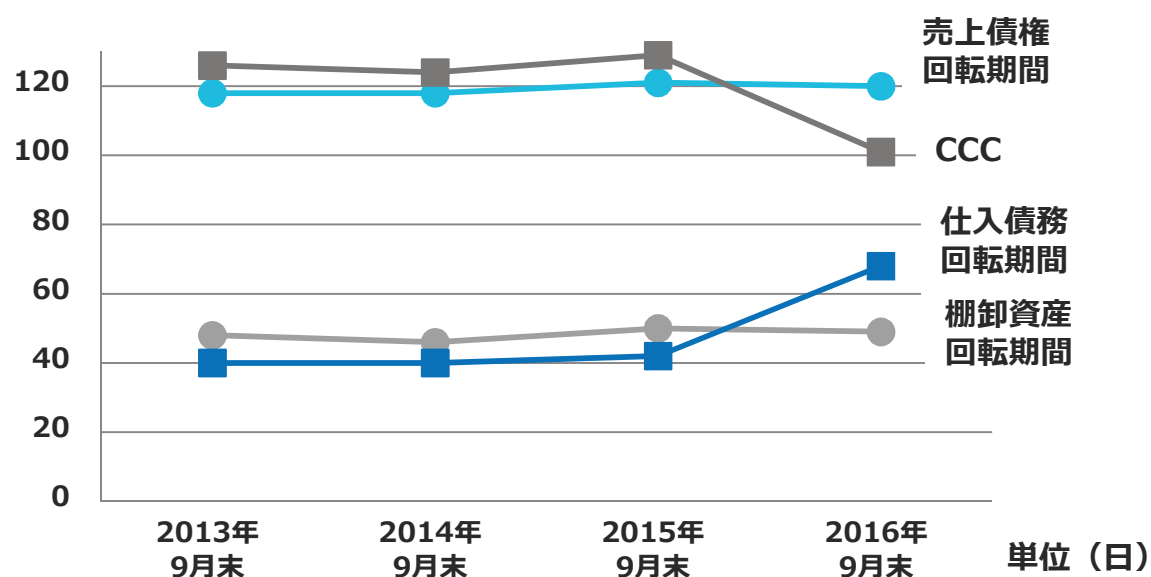
設備投資の状況	2015年3月期 (実績)	2016年3月期 (実績)	2017年3月期 (2Q実績)
物流関連	2.9	20.0	29.8
ショールーム関連		4.6	2.5
IT関連		9.7	8.4
建物・設備関連	7.9	7.6	0.5
エクステリア事業 照明事業	0.9	1.8	2.9
合計	15.1	46.4	44.2
減価償却費	11.8	14.3	10.7

当第2四半期は、主に物流拠点の統廃合、IT基幹システム更新、地方型ショールームの設置などによる大型投資が集中しました。通期設備投資額は50億円を予定。

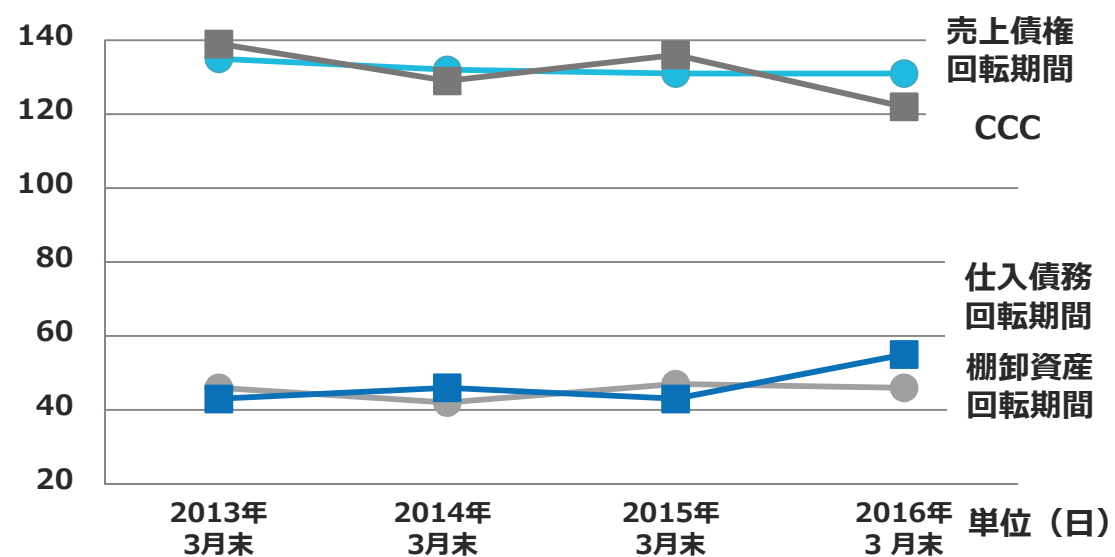
【参考】 Cash Conversion Cycle (サンゲツ単体)

単位 (日)

	2013年 9月末	2014年 9月末	2015年 9月末	2016年 9月末
売上債権 回転期間	118	118	121	120
棚卸資産 回転期間	48	46	50	49
仕入債務 回転期間	40	40	42	68
CCC	126	124	129	101



	2013年 3月末	2014年 3月末	2015年 3月末	2016年 3月末
売上債権 回転期間	135	132	131	131
棚卸資産 回転期間	46	42	47	46
仕入債務 回転期間	43	46	43	55
CCC	139	129	136	122



自己資本及び純利益の推移

単位（億円）

	2013年3月期 2Q	2014年3月期 2Q	2015年3月期 2Q	2016年3月期 2Q
自己資本金額	1,194.0	1,211.4	1,172.9	1,069.0
自己資本比率	85.4%	83.9%	83.6%	77.0%
四半期(当期)純利益	26.9	21.5	32.2	28.6
EBITDA	48.5	38.9	53.5	50.3

※EBITDAは税引き前利益+支払利息+減価償却費にて算出。

2017年3月期 通期見通し

外部環境予想(当社推定)

		新設住宅着工戸数	新設住宅着工床面積	住宅リフォーム市場	民間非居住建築物 着工床面積 (倉庫・工場を除く)
		(国土交通省発表資料) 前年比	(国土交通省発表資料) 前年比	(当社推計資料) 前年比	(国土交通省発表資料) 前年比
2014年	4-9月	▲11.6%	▲15.7%	▲14.6%	▲8.2%
	10-3月	▲10.1%	▲14.8%	▲20.8%	▲12.7%
	通期	▲10.8%	▲15.2%	▲17.8%	▲10.4%
2015年	4-9月	6.9%	3.5%	4.5%	▲4.7%
	10-3月	2.2%	0.7%	1.0%	▲8.5%
	通期	4.6%	2.1%	2.8%	▲6.5%
2016年	4-9月	6.0%	4.1%	▲9.0%	1.6%
	10-3月(予)	▲0.9%	-	▲5.0%	4.4%
	通期(予)	2.6%	-	▲7.0%	2.9%

住宅	<ul style="list-style-type: none"> ・注文住宅大手5社の受注速報4～7月で前年同期比0.2～5.6%増と堅調だが、下期若干スローダウン。 ・10月の新設住宅着工戸数・面積とも高水準にあり、内装工事量は順調。
住宅リフォーム	<ul style="list-style-type: none"> ・上期に比し若干復調するが、下期も前年比5%程度の減少が見込まれる。
非住宅	<ul style="list-style-type: none"> ・14年度、15年度の着工面積の減少の影響により内装工事は全般的に引続き低調なるも、首都圏で一部大型内装工事スタート。

連結業績見通し(概要)

■ 売上高 1,370億円

(前期比+2.3%/30億2,000万円増、期初計画比30億円減だが、過去最高を見込む)

- ・ 下期新築住宅の好調、首都圏での大型内装工事間取引増を予定。各種施設・住宅で使用される床材の新見本帳・新商品投入効果を見込む。

■ 営業利益 80億円

(前期比▲12.2%/11億1,000万円減、期初計画比10億円減)

- ・ 期初計画比 売上高30億円減に伴い、総利益期初比9.5億円減。
- ・ 販管費は経費削減に努めるも、引き続き受注業務のBPO、買収案件等追加経費が発生し、営業利益は期初計画比10億円減。

■ 当期純利益 59億円

(前期比▲7.7%/4億9000万円減、期初計画比4億円減)

- ・ ウェーブブロックHD持分法投資利益増等の営業外収益増、退職給付制度一部終了益の計上等による特別利益の計上、物流LC・基幹システム関連の固定資産評価替えを販管費で計上したことによる特別損失減を見込むも、営業利益減益が影響し、当期純利益は期初計画比4億円減を見込む。

連結業績計画

単位（億円、％）

	2016年3月期		2017年3月期							
	上期実績	通期実績	上期実績			通期修正計画	計画差異		前期差	前期比
				前期差	前期比		計画差	修正-期初 計画比		
売上高	642.5	1,339.7	649.8	7.3	1.1%	1,370.0	▲30.0	▲2.1%	30.2	2.3%
売上総利益	188.2	395.2	193.8	5.5	2.9%	405.0	▲9.5	▲2.3%	9.7	2.5%
販売費及び 一般管理費	142.6	304.1	158.2	15.5	10.9%	325.0	0.5	0.2%	20.8	6.9%
営業利益	45.5	91.1	35.5	▲10.0	▲22.0%	80.0	▲10.0	▲11.1%	▲11.1	▲12.2%
営業外収益	2.3	4.5	4.2	1.9		6.8	1.2		2.2	
営業外費用	0.2	1.0	0.1	▲0.0		0.8	0.2		▲0.1	
経常利益	47.6	94.6	39.6	▲7.9	▲16.7%	86.0	▲9.0	▲9.5%	▲8.6	▲9.1%
特別利益	0.1	0.2	1.0	0.9		1.3	1.3		1.0	
特別損失	0.5	1.3	1.0	0.4		1.3	▲2.7		▲0.0	
税金等調整前 当期純利益	47.2	93.4	39.7	▲7.5	▲15.9%	86.0	▲5.0	▲5.5%	▲7.4	▲8.0%
親会社株主に帰 属する 当期純利益	32.2	63.9	28.6	▲3.5	▲11.0%	59.0	▲4.0	▲6.3%	▲4.9	▲7.7%
EPS（円）※	44.6	89.8	42.4	▲2.2		87.2	▲5.0		▲2.6	

※2016年3月期実績EPSは、潜在株式調整後の株式数にて算出

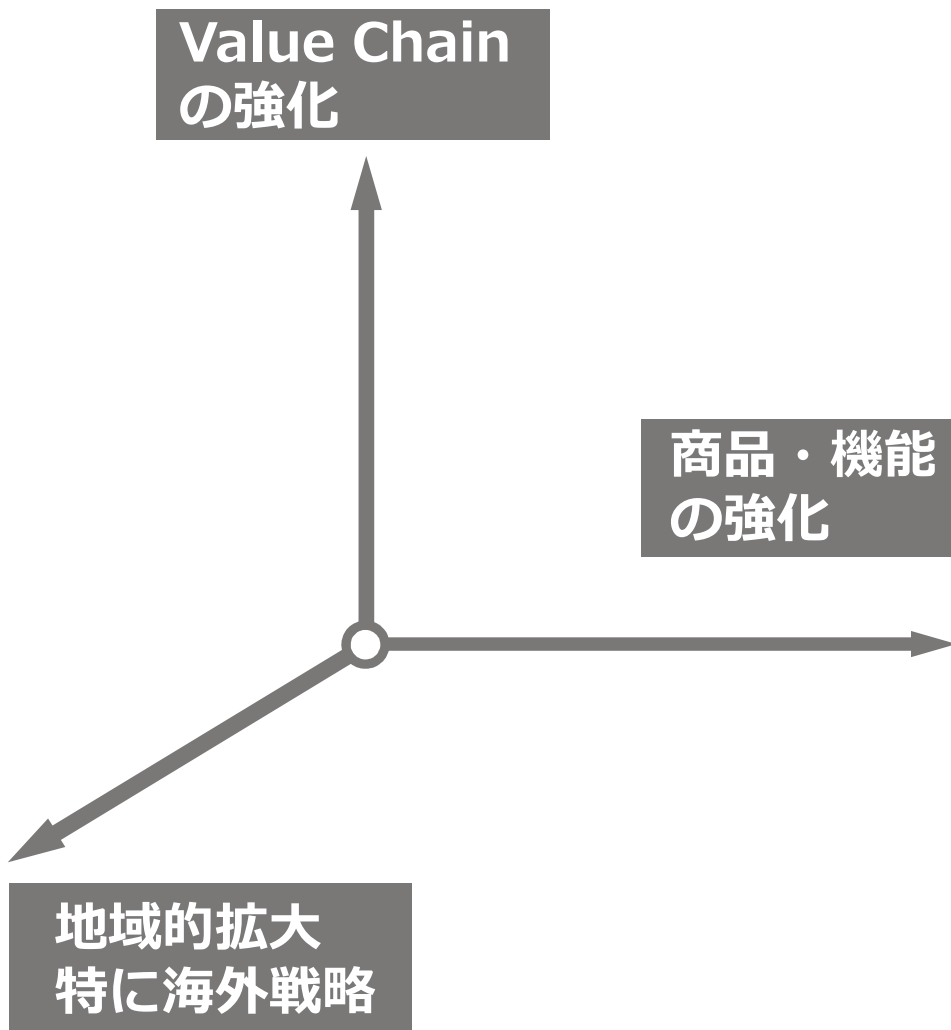
連結セグメント別業績計画

単位 (億円、%)

		2016年3月期		2017年3月期							
		上期実績	通期実績	上期実績			通期修正計画			前期差	前期比
					前期差	前期比		計画差異	修正-期初		
インテリア	売上高	551.1	1,151.4	557.1	5.9	1.1%	1,180.0	▲25.9	▲2.2%	28.6	2.5%
	営業利益	44.9	88.7	33.6	▲11.3	▲25.2%	75.9	▲9.2	▲10.9%	▲12.7	▲14.4%
エクステリア	売上高	71.8	147.1	72.5	0.6	1.0%	148.5	▲3.4	▲2.3%	1.4	1.0%
	営業利益	1.5	3.6	2.0	0.5	33.8%	4.1	▲0.6	▲13.8%	0.4	12.7%
照明器具	売上高	19.7	41.4	20.5	0.7	4.0%	41.7	▲0.2	▲0.6%	0.2	0.7%
	営業利益	▲0.8	▲1.2	▲0.0	0.8	95.2%	▲0.0	▲0.0	-	1.2	98.4%
セグメント間取引調整	売上高	▲0.2	▲0.2	▲0.3	▲0.1	▲45.0%	▲0.3	-	-	▲0.0	-
	営業利益	▲0.0	▲0.0	▲0.0	▲0.0	▲77.2%	▲0.0	-	-	▲0.0	-
合計	売上高	642.5	1,339.7	649.8	7.3	1.1%	1,370.0	▲30.0	▲2.1%	30.2	2.3%
	営業利益	45.5	91.1	35.5	▲10.0	▲22.0%	80.0	▲10.0	▲11.1%	▲11.1	▲12.2%

中期経営計画（2014-2016）
Next Stage Plan G
進捗状況

成長戦略



Value Chainの強化

- 川上：仕入れ先とのアライアンス強化
- 川下：営業力強化 ➡ **受注業務BPO**

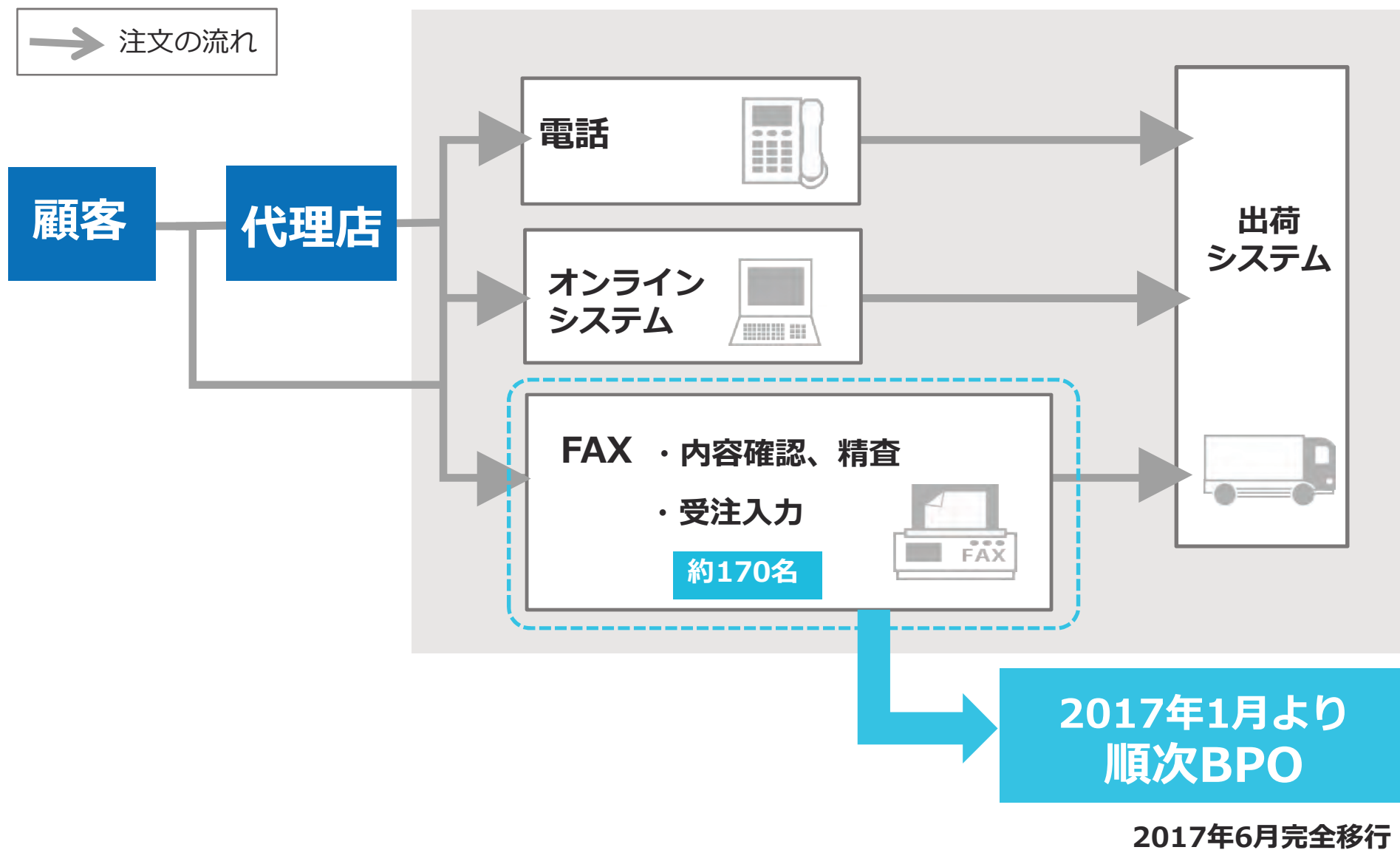
商品・機能の強化

- 商品：新規商品
- 機能
 - メイン機能：営業・商品開発
 - 物流 ➡ **設備統廃合**
 - サブ機能：**施工力**
 - コーディネーション提案

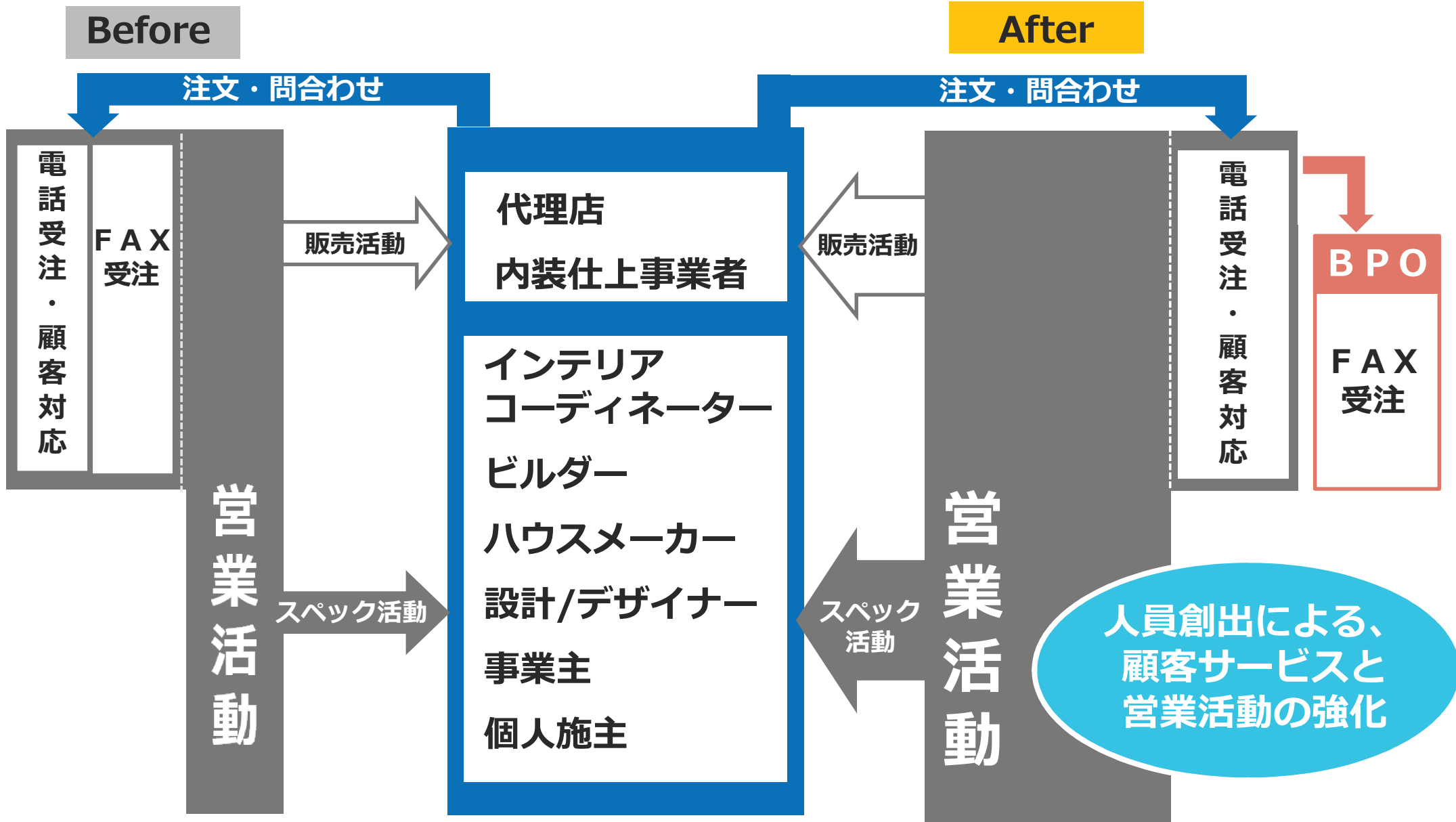
地域的拡大

- 国内：重点地域 ➡ **新規ショールーム**
- 海外：**Distribution市場の拡大**

営業力 受注業務の一部をBPO



機能の強化 受注業務の一部をBPO



国内販売強化 ショールーム新設

●地方型ショールーム3拠点を新たに設置

◆ sangetsu design studio

開設時期	名称	規模
2016年6月	サンゲツ仙台ショールーム	600㎡
6月	サンゲツ沖縄ショールーム	130㎡
10月	サンゲツ金沢ショールーム	260㎡



●地元ビルダー、工務店、リフォーム店、設計士・ICの活用の方に

- 大きな現品サンプルや体感コーナーで商品を確認しながら柄決め。
- お客様との打合せの場に、困った時はスタッフがフォロー

➡ **高付加価値商品、壁紙+aの販売機会の創出**

●2016年度上期 来場者、接客件数ともに全体で **20%** 増

メイン機能強化 物流拠点統廃合

● 物流の最適化を目指す

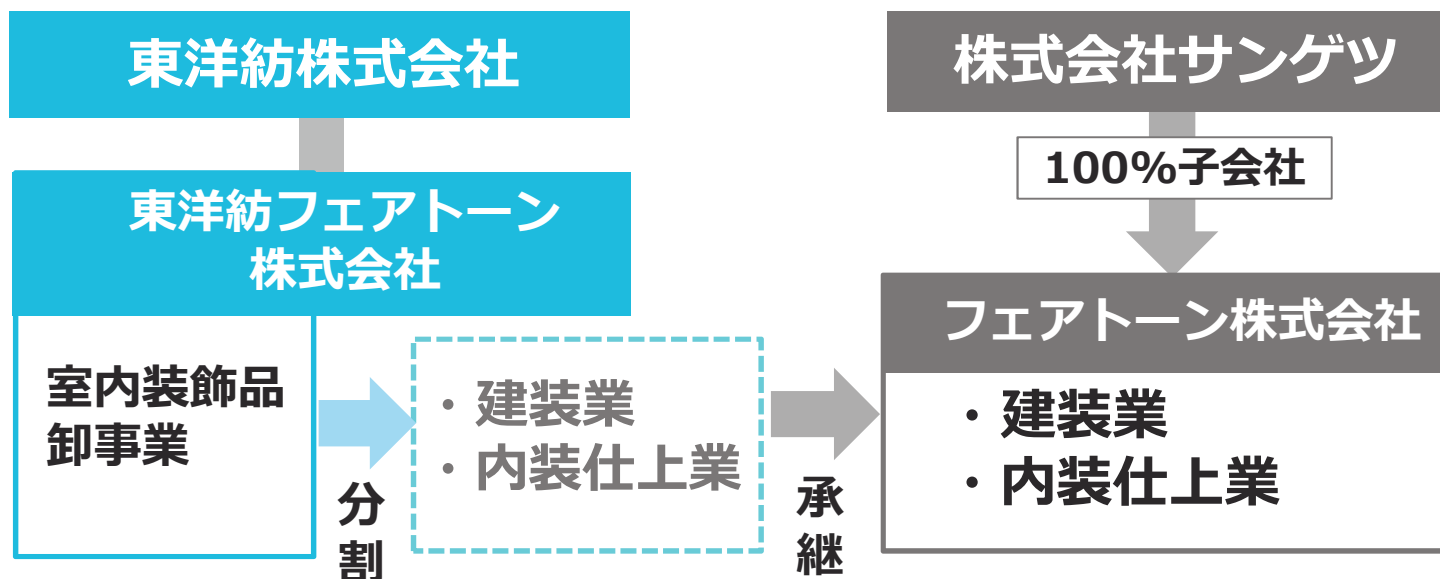
- ・ 出荷作業の効率化
- ・ 物流拠点と営業拠点の分離
→ アクセス優先の立地
- ・ 老朽化した設備の新鋭化
- ・ SCMの構築

集荷を中部LCと北関東LCへ集中。
集荷拠点センターの整備と拠点間
輸送を行う。



サブ機能強化 施工力 フェアトーン株式会社(100%子会社化)

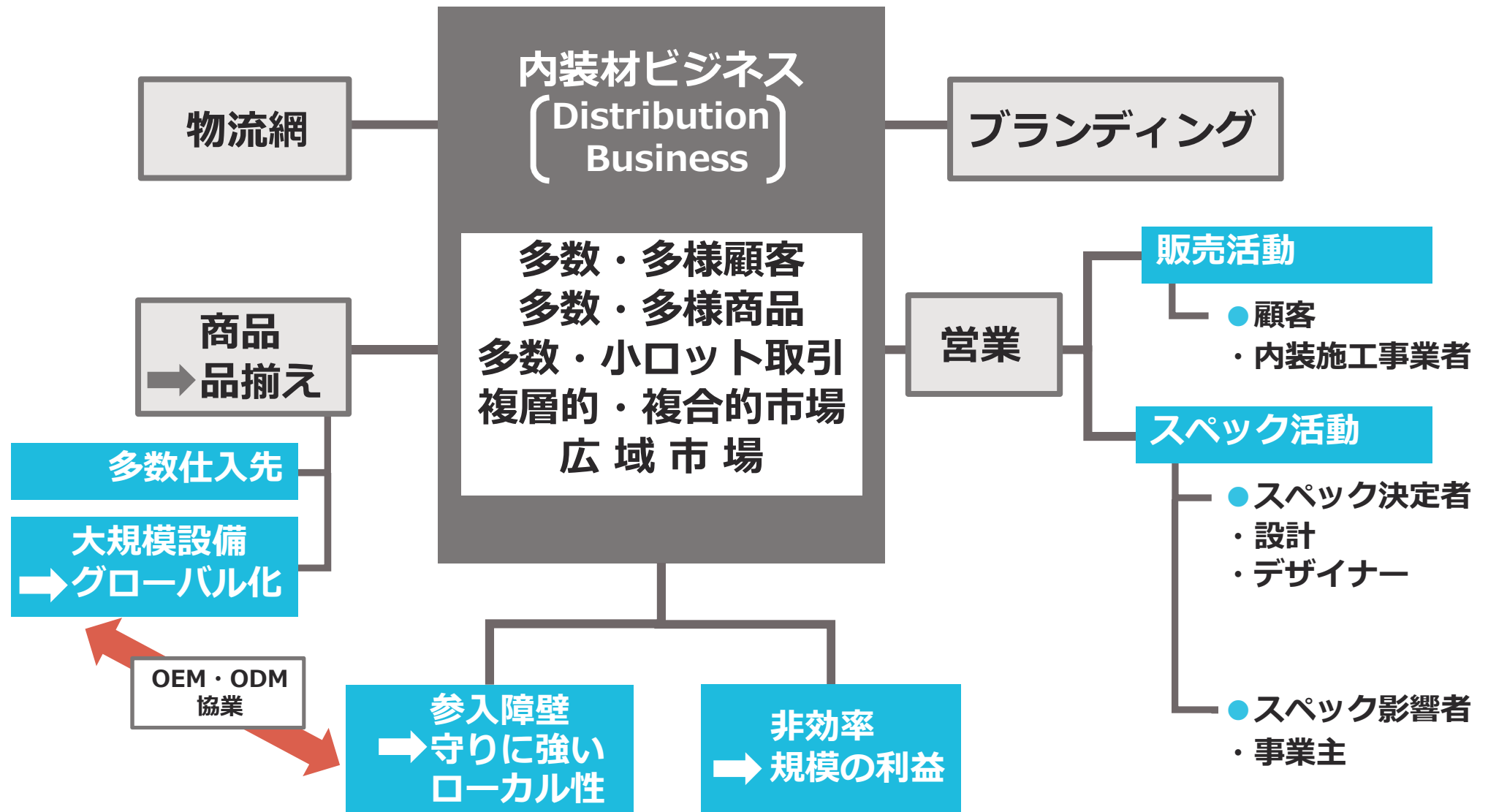
■ スキーム



■ 会社概要

商号	フェアトーン株式会社	事業内容	内装仕上業、建装業
設立	平成28年7月1日	特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・ 設立以来33年間、ゼネコンや事務機器メーカー、オフィス店舗設計会社での施工実績 ・ 東京と大阪を中心に「東洋紡フェアトーン(株)安全協力会」を組織し、施工を実質内製化。即応態勢が確立している。 【営業範囲】 近畿圏、関東圏（都内中心） 【工事内容】 内装全般（床、壁、間仕切、木工造作、設備等）
従業員	14名（平成28年12月末）		
株式分割譲渡	東洋紡フェアトーン株式会社が建装事業を分割した新会社を、本年末株式会社サンゲツに譲渡。（100%子会社化）		

サンゲツの海外戦略



海外での進捗状況

1) 中国現地法人「山月堂（上海）装有限公司」

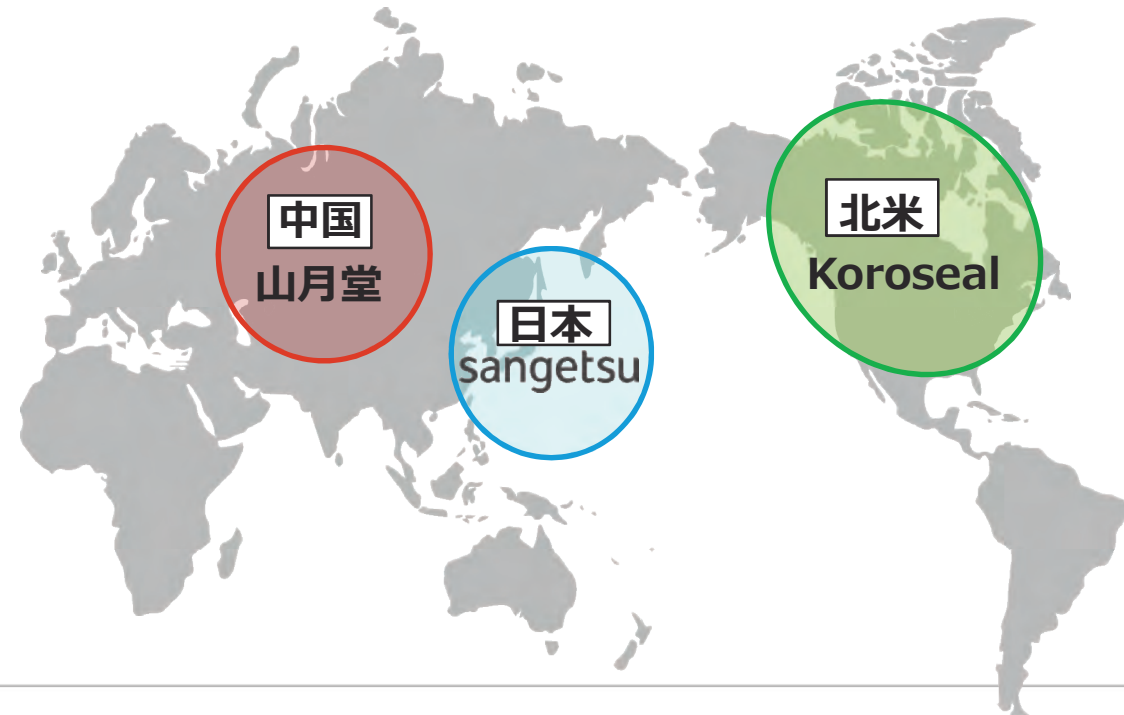
活動内容：日系不動産企業・店装・設計、中国系大手不動産に対する
販売活動・スペック活動

人員体制：6名（2016年11月時点）

物流：現地に専用見本帳、在庫、物流網の整備

2) 米国 Koroseal社

→ 別紙



株主還元と純資産の推移

年度	2015年3月期 (2014.4-2015.3)	2016年3月期 (2015.4-2016.3)	2年合計 (2014.4~2016.3)	2017年3月期 第2四半期 (2016.4-9)
純資産の期首残高	1,198.8億円	1,187.5億円	-	1,085.1億円
会計方針変更による変動額	▲3.5億円	-	-	-
配当総額 (一株当たり配当額)	▲28.5億円 (41.25円/株)	▲32.5億円 (47.50円/株)	▲61.1億円	昨年度期末配当 ▲17.0億円 (25.00円/株) ※中間配当 22.5円から25円へ増配
連結当期純利益	44.0億円	63.9億円	107.9億円	28.6億円
自己株取得金額	▲47.8億円	▲101.4億円	▲149.3億円	▲22.1億円
その他の包括利益 累計額	24.7億円	▲32.3億円	▲7.6億円	▲4.7億円
純資産の期末残高	1,187.5億円	1,085.1億円	-	1,069.8億円 (2016年9月)
総還元額	76.4億円	134.0億円	▲210.4億円	

取得期間	取得した株式の総数	株式取得額の総額
2016.04.01~ 2016.04.26	63.8万株	12.7億円
2016.07.11~ 2016.08.30	50.0万株	9.3億円

将来見通しに関する注意事項

本資料には当社の「将来に関する記述に該当する情報」が記載されています。本資料における記述のうち、過去または現在の事実に関するもの以外は、将来予測に関する記述に該当します。

これら将来予測に関する記述は、現在入手可能な情報に鑑みてなされた当社の仮定および判断に基づくものであり、これには既知または未知のリスクおよび不確実性ならびにその他の要因が内在しており、それらの要因による影響を受ける恐れがあります。

Joy of Design